

## コピー用紙を 購入したときは？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



**新人さん：**B5のコピー用紙がなくなりそうだって、田中さんが言っていました。

**先輩：**ペーパレス化といっても、まだまだ紙ベースでの資料提出が多いからね。

**新人さん：**はい。でも使用量は圧倒的にA4やA3が多いですね。B5なんて珍しいですね。

**先輩：**ああ、以前は行政の文書はB5が多かったけれど、1993年頃からA判化が進められてきたからね。

**新人さん：**そうなのですか？ ところで、コピー用紙を購入したときは消耗品費で処理したらいいですか？

**先輩：**それでも間違いではないけれど、うちは違う勘定科目を使っているよ。

### ○解説

「事務用品費」とは、事務作業の際に使用する文房具一般の支出を処理する勘定科目です。文房具一般とは、

具体的には、筆記用具、帳票類、OA機器関連、電子記録媒体、印刷物などです。「事務用消耗品費」という勘定科目を使うこともあります。

「事務用品費」と似た「消耗品費」との区別は、事務用途かそれ以外かによって判断します。ただし、「事務用品費」や「事務用消耗品費」という勘定科目を設けていない場合は、「消耗品費」として処理しても構いません。どの勘定科目で処理するかは社内規程に従います。

文房具などを購入した場合、そのときに「貯蔵品」などとして資産計上し、使用の都度、「事務用品費」として費用に振り替える処理が理論的です。しかし、処理が煩雑になるため、購入時に「事務用品費」として費用計上し、期末時点で未使用のものを「貯蔵品」として資産計上する処理が一般的です。ただし、重要性の乏しいものは資産計上しなくても構いません。

また、每期ほぼ一定の量を取得し経常的に消費する場合、「貯蔵品」として資産計上せずに、「事務用品費」として全額を購入した年度の費用に計上できます。 ▲

### ケース1 期末に資産計上する場合

・購入時：B5のコピー用紙20冊10,000円(税別)を購入し、代金を普通預金口座から振り込んだ。

【借方】事務用品費	10,000	【貸方】普通預金	11,000
仮払消費税等	1,000		

・期末：棚卸の際、上記のB5のコピー用紙18冊が未使用であることがわかり、資産計上した。

【借方】貯蔵品	9,000	【貸方】事務用品費	9,000
---------	-------	-----------	-------

・翌期首：資産計上した未使用のB5のコピー用紙18冊分を振り替えた。

【借方】事務用品費	9,000	【貸方】貯蔵品	9,000
-----------	-------	---------	-------

### ケース2 期末に資産計上しない場合

・購入時：B5のコピー用紙20冊10,000円(税別)をクレジットカードで購入した。

【借方】事務用品費	10,000	【貸方】未払金	11,000
仮払消費税等	1,000		

・期末：棚卸の際、上記のB5のコピー用紙9冊が未使用であることがわかった。  
仕訳なし